



7月に入りました。

梅雨のイメージが強い6月と違って、7月は、「夏休み」「青空」「海」など、子どもたちは好意的なイメージをもちやすい月ですね。1学期も残り3週間（登校日数14日）です。

職員と保護者の皆様の連絡方法について

県教委から、職員と保護者等との連絡方法として、個人のアカウントによるSNSは使用しないよう、通知が届きました。LINE等のSNSは大変手軽で便利なのですが、多くの問題も起きているようです。

今後、保護者の方々と職員の連絡の仕方については、近隣の学校の取組も参考にしながら、近いうちに改めてご相談させていただきます。

6月25日に、ふるさと出身の先輩をお招きして、その「生き方」や「職業観」などを学ぶ『みらいの扉』が行われました。

今回の講師は、(株)446代表取締役の吉村優さん。町の情報教育支援員として、子どもたちのタブレットや学校のパソコンの環境を整えてくださっています。

学生時代から就職、そして起業して現在に至るまでの人生の中で、転機となったエピソードや、それをどう乗り越えたかを、子どもたちにも分かりやすくお話ししてくださいました。「自分の限界値を知る」ことの大切さなど、これから人生を切り拓いていく子どもたちにとって、ヒントになる話がたくさん聞けた素敵な時間でした。

吉村さん、ありがとうございました。

みらいへの扉



救急救命法講習

7月3日には、保護者の方と職員による救急救命法講習が行われました。

これから、子どもたちがプールや海など水に入る機会が増えます。万が一の事態に備え、「心臓マッサージ」と「AEDの使い方」を学びました。私も毎年受講していますが、毎年新たな学びがあり、とても勉強になりました。

